

製品名: A-Raf (リン酸化 Tyr302) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04255**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	ARAF
別名	ARAF; ARAF1; PKS; PKS2; Serine/threonine-protein kinase A-Raf; Proto-oncogene A-Raf; Proto-oncogene A-Raf-1; Proto-oncogene Pks
遺伝子 ID	369.0
SwissProt ID	P10398
免疫原	抗血清は、ヒト A-RAF の Tyr302 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 276-325

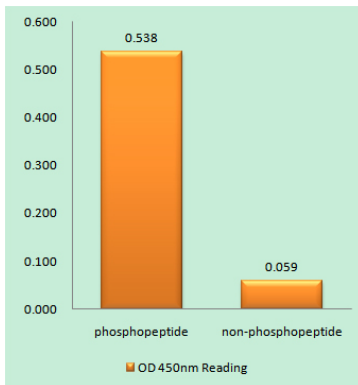
背景

このプロトオンコゲンは、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーの RAF サブファミリーに属し、細胞の成長と発達に関与している可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、補因子: サブユニットあたり 2 個の亜鉛イオンを結合する。、機能: 細胞膜から核への分裂促進シグナルの伝達に関与する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。 RAF サブファミリー。、類似性: ホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、類似性: RBD (Ras 結合) ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: TH1L/NELFD と相互作用する。、組織特異性: 主に泌尿生殖器組織に存在。、

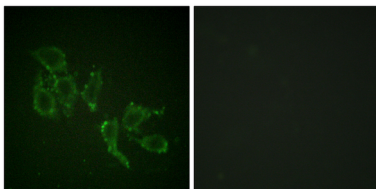
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; ErbB/HER; 細胞増殖

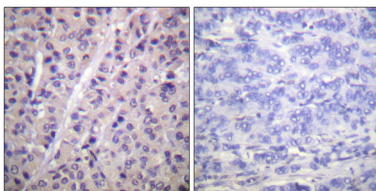
画像データ



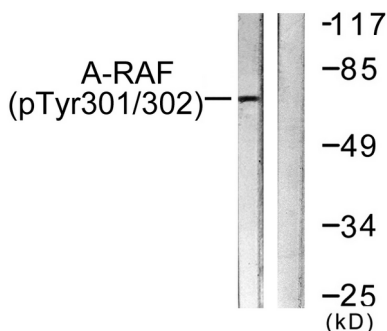
A-RAF (リン酸化 Tyr302) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



A-RAF (リン酸化 Tyr302) 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



A-RAF (リン酸化 Tyr302) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30 分処理した HeLa 細胞ライセートの A-RAF (リン酸化 Tyr302) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。

